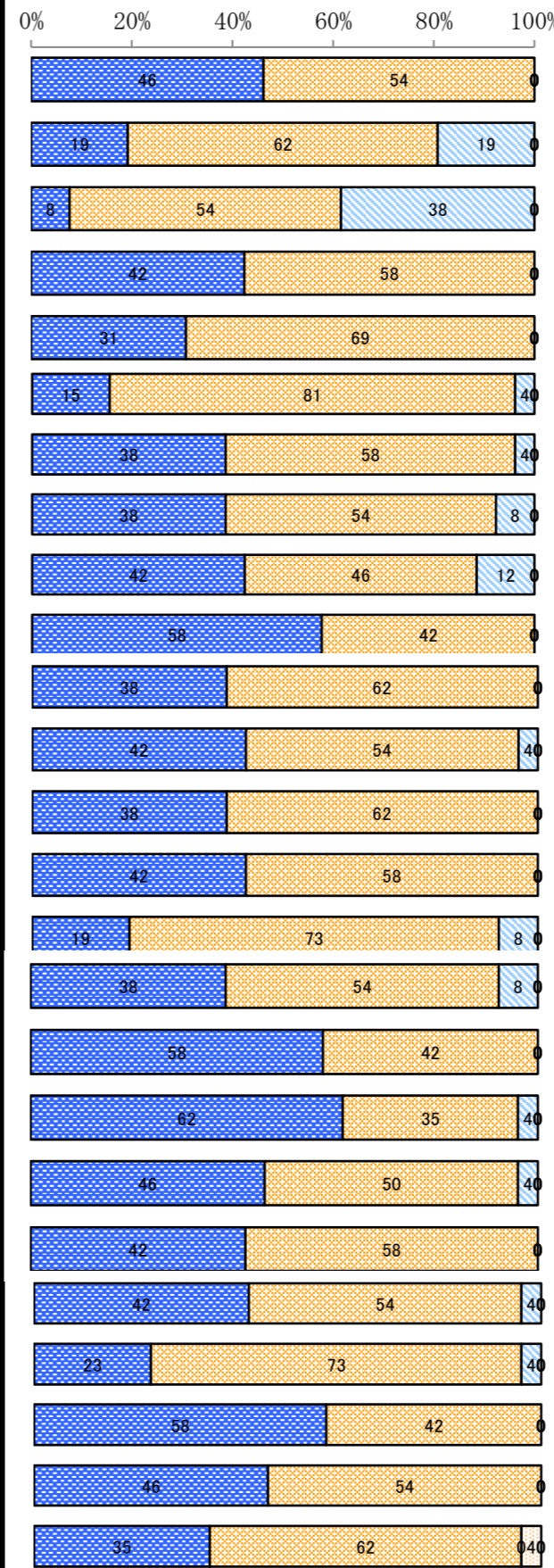
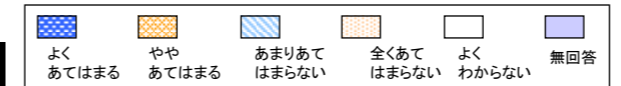


アンケートの結果			上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員						
			A	B	C	D	よく分らない	無答	
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	50	40	6	1	3	0
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	66	28	4	2	1	0
	3	基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	47	43	9	1	1	0
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	29	45	18	4	4	0
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	60	29	8	2	1	0
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	52	36	8	2	2	0
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	58	33	6	1	2	0
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	71	21	6	1	1	0
	9	情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	29	50	7	1	12	0
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	65	25	8	1	0	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	30	51	11	1	8	0
	12	道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	50	35	12	3	1	0
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	36	51	8	2	3	0
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	67	26	5	0	1	0
	15	自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	29	54	2	2	13	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	41	41	12	3	3	0
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	39	34	14	7	7	0
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	77	18	4	0	1	0
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	71	27	1	0	0	0
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	57	32	8	2	1	0
各学校の特色ある教育	21	読書活動	子供たちは進んで読書に取り組み、読書の習慣が高まっている。	51	43	2	0	3	0
	22	体力向上	朝遊びや休み時間、体育の学習等で、児童が体を動かすことを楽しむ取り組みを行っている。	49	29	8	2	12	0
	23	体験活動	職人教室、書道教室、百人一首大会等、伝統文化を尊重する心をはぐくむ行事を実施している。	37	54	8	1	0	0
	24	社会教育	地域と連携した体験学習等、児童の社会性をはぐくむ学習を行っている。	50	36	8	1	5	0
	25	異学年交流	なかよし遊び等の交流活動など、児童の社会性をはぐくむ活動を行っている。	37	53	4	2	4	0



無効票を除く(%)

無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

全校朝会の在り方などを年度内に変更し、校長を始め教職員からの話が児童一人一人に届くよう務めたことが、結果につながっている。

否定群がごくわずかだが増えている。コロナ禍が明け、様々な活動や児童の関わりが増えたことから、トラブルが増加したこと起因すると考える。今後もSCの助けも得ながら、児童の学校生活の改善に努める。

挨拶を中心に礼儀等、交通マナー等について、全教職員で継続して指導に努めている。SNSの使い方も含め、生活習慣の改善のために家庭と指導の連携をはかる。

前年度より、ごくわずかだが肯定群が増加している。今後も、全校朝会、学校ホームページ等を活用し、児童の頑張りや成果を価値付け応援していく。

否定群は見られなかった。引き続き避難訓練や、夏季における熱中症対策、冬季における感染症対策等に学校体制で努める。

否定群がごくわずかだが増えている。次年度以降、区の指定研究校等を受け取り組み、学校全体での授業改善に励む。

前年度までとほとんど変化が見られない。次年度以降も引き続き都の施策である算数の習熟度指導等を実施していく。

GIGAスクール構想を受け、家庭学習等にタブレットPCやオンライン教材等の利用を活用し、学習を充実させていく。

タブレットPC等の活用の頻度は、昨年度と比較して増えてきている。次年度校内研究の主題に位置付け、より有効な活用を目指していく。

否定群は見られなかった。特定の教科に限定せず、多くの教科において学校図書館を活用し、学びの質を高めていけるよう努める。

否定群は見られなかった。今後も日常的な学校生活の中で、人権意識を育てられるよう継続して指導していく。

道徳授業地区公開講座や親子で道徳について話し合う機会の設定などに取り組んだ。次年度以降より充実させていく。

否定群は見られなかった。今後も児童一人一人にきめ細かく配慮し、児童が安心して過ごせる学校づくりに努める。SCの活用を保護者にもさらに広める。

否定群は見られなかった。運動会や移動教室、校外学習等の学校行事や、お店探検や職場体験等地域との関わりが結果につながっている。

クラブや委員会等での活動を充実させられるよう努めているが、児童数の増加と共に、活動の場を増やすことが難しくなっている。今後もより多くの児童が主体的に活動できるように工夫していく。

近年に比べ、HPやX（旧ツイッター）などを使った保護者地域への発信を積極的に行ってきた。わずかではあるがその成果から肯定群が増えている。児童はスクリーン活用により、よく分からないが増えていると考えられる。

前年度からの変化がほとんど見られなかった。若い教職員が年々増えているため、今後も学年や学校体制で対応できるよう努めていく。

前年度よりも肯定群が増えている。コロナ以前の公開授業等を実施することができるようになったことが大きい。より改善に努めていく。

前年度よりも肯定群が増えている。コロナ以前のように、地域行事へ参加できる機会が増えてきたことが大きい。今後も積極的に参加していく。

前年度よりも肯定群が増えている。今後も意見を真摯に受け止め、誠実に対応できるよう全職員で努めていく。

前年度よりも、否定群が増えている。今年度は図書を活用した活動に力を入れて取り組んだ。次年度以降児童の読書時間の確保等に努める。

前年度と比べ、肯定群の中で、「よくあてはまる」の割合が下がっている。次年度体育集会の充実等に努める。

前年度と比べ、「よくあてはまる」の割合が下がっている。今後も書道教室や百人一首大会等伝統文化を体験させる活動を充実させていく。

生活科におけるお店見学、6年生の職業体験等、コロナ禍が明けたことで今年度より再開することができた。次年度以降も取り組んでいく。

「わからない」という回答が一定数見られた。HP等を活用し、校内で取り組んでいる異学年交流の活動を積極的に広報していく。